

中沢かつゆき 通信

自民党鎌倉市会議員

<http://www.nakazawa.jimusho.jp>



自民党鎌倉市連合支部幹事長

市政に関するご要望、皆さまの声をお聞かせください！

2月定例会

2009年の選挙で初当選し、初議会となったその年の6月定例会から、たった一人続けた一般質問も、16回目となります。「防災」や「子供たちの環境」を中心に、時々問題化した事案を質問してきました。防災は、温泉コンサルタントの仕事をしてきた経緯から、中越地震、能登半島地震、宮城・岩手内陸地震などで直接連絡を取ったりお手伝いをしてきました。その時、「連絡」の重要性を感じ、災害時には携帯などの通信は使えなくなるので、「メール」を使用した連絡網の整備を訴えてきました。3.11、まさに危惧した状況となり、学童、学校などでメール連絡を中心とした連絡網整備となりました。子どもの環境では、学童保育の環境整備、保育園の民営化など子供が過ごす場の整備環境充実を質問

してきました。そして、いじめや学級崩壊、引きこもりや教師の不祥事など今まで「統計」で質問されてきたことを、具体的な対応策を求めてきました。いじめはあってはいけない、政治が強いメッセージを出していかなくてはということ求めてきました。そして、鎌倉市議会初の「教育委員長」への質疑。そして、「教育委員長」の答弁がありました。今泉砂押川歩道整備は、4年前地元の皆さんとお約束をしました。ライフワークとして取り組んでいきますと。30年間すすまなかった砂押川歩道整備ですが、中村省司県会議員とともに行政と話し合い、ようやく今年度基本設計まで進み、来年度詳細設計、平成26年度当初着工となりました。これからも、安全安心な街づくりに取り組んでいきます。

いじめ110番設置へ

昨年夏前に大きく報道されたいじめ問題。なぜ、中学生が自ら命を絶たなくてはならなかったのか、ということをもっと真剣に考えるべきだと思います。そして、いじめ問題は、鎌倉市でも起きています。学級崩壊も鎌倉市内の学校で起きています。子供たちが安全に過ごす場である鎌倉市立小中学校でも、子供たちがいじめで悩み、苦しんでいる実態がある中、行政がすべきことは、学校、教育委員会と一緒にいじめに遭っている子供を守っていくことだと思います。神奈川県や政令市では、「いじめ110番」を設置し、24時間365日相談できるようになっています。実際、鎌倉市のいじめに遭っている子も相談しています。しかし、相談内容によっては、相談している子がどこに住んでいるのかなど、なかな

か伝わりづらいところもあります。鎌倉市では、「こども相談課」で子育てを含めた様々な相談に乗っています。しかし、いじめに対する強いメッセージを出してほしいとお願いしたことからも、「いじめは許さない」ということをもっと出すべきだということで、一般市では珍しい「いじめ110番」設置をお願いしました。いじめに遭っている子や保護者などの方が利用していただき、いじめをなくすための運用をしていきます。夜間や休日は神奈川県のいじめ110番との連携となりますが、より情報共有をし、いじめをなくすために県、市、教育委員会、学校一体となって取り組んでいきます。

自民党は、「いじめ防止対策基本法」の制定をめぐし、いじめ問題に取り組んでいきます。

教育長人事議案撤回

昨年10月から不在となっている鎌倉市教育長。教育委員会の責任者は「教育委員長」ですが、事務方の責任者は「教育長」です。議会で教育関係を答弁するのは、教育長です。教育長は、教育委員の中で互選されます。鎌倉市では、教育長を含む2名が欠員となっています。病気等でなく教育長が半年も不在ということは異常事態です。昨年9月議会から、市長に対して「早く教育長予定教育委員と教育委員の人事議案を提出してほしい」とお願いしてきました。しかし、12月定例会では人事議案が提出されず、臨時議会も開かれず、2月定例会開会まで提出されませんでした。2月定例会開会后、突然教育長人事議案の内示があり、人事議案提出されました。杉並区で民間校長を務めている方を、鎌倉市の学力を上げるということで教育長に選任したいということです。鎌倉市は、今まで教育界から教育長を選んできました。なぜ民間からなのかの説明もなく、教師経験もない、子育て経験もない方に、今の鎌倉市が抱えている課題に対応でき

ると思えませんでした。いじめや学級崩壊、引きこもり、教師の不祥事など鎌倉市が抱えている課題は、学力の向上だけではありません。ある国会議員が候補者のことを「私の友人ですのでよろしく」と平気で発言したり、「否決したら市議選の争点にしますよ」と発言。さらに、候補の方は現校長である中学校でわいせつ事件の処分に時間をかけ、隠ぺいしたと大きく報道されていました。また、政治家を使って猟官運動、圧力ととられる行動をとっており、とても教育者としてはふさわしくないと判断し、質問をしました。結果、市長から人事議案取り下げとなりました。市長に、「混乱の責任は誰にあるか」と質問をし、市長は「自らにある」と認めました。教育に政治家が介入したり政争にしているはいけなしいと思います。3月8日の新聞全紙に大きく報道された今回の教育長人事議案撤回。市長は、子どもの未来を考えた人事議案提出をお願いしたいと思います。

子供たちに新しい表彰制度

鎌倉市の子供たちは、全国大会でも多く活躍し、毎年、「市政功労者表彰式」でも子供たちが表彰されています。しかし、翌年同じような成績でも、市政功労者表彰されることはありません。これは、同じ内容では2度表彰しないという規定によるものです。これでは、小学生や中学生の時に表彰されると、さらに上で活躍して結果を出しても表彰されないということになってしまいます。

鎌倉市の子供たちが、全国的に活躍していることは、鎌倉市にとっても名誉なことですし、次に続く子供たちにとっても励みになります。市長に、市政功労者表彰を受けた子供が、翌年以降同じような成績を残したとき、新たな表彰をしてほしいとお願いしました。市長は、今年10月の任期までに新たな表彰制度を作り、子供たちを表彰します、と答弁しました。ぜひ、多くの子供たちを表彰してほしいと思います。

中沢かつゆきの経歴

経歴：昭和41年6月生

群馬県立渋川高等学校卒業
東京電機大学工学部情報科学科卒業
スパライズ株式会社代表取締役
大阪観光大学観光学研究所
客員研究員
鎌倉中央ロータリークラブ副会長
材木座保育園保護者会会長
にかいどう子どもの家父母会会長
県議会議員中村省司秘書
著書「安全な温泉・あぶない温泉」
(草思社刊)
二階堂在住
事務局：Tel 0467-61-0305
Fax 0467-61-0315

ほっと、一息：日頃の疲れを、温泉で癒してみませんか？

* 中沢かつゆきは温泉コンサルタントでもあります *



鬼怒川温泉：新宿駅が、今「温泉ターミナル駅」となっています。信州や甲州の温泉郷への中央本線。箱根方面の小田急線。小田原や鎌倉方面からの湘南新宿ライン停車ホームから、スペースに乗り、約2時間で鬼怒川温泉へ。泉質は、アルカリ性単純泉。神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩などにいいとされています。また、やけどの鬼怒川、傷の川治といわれるように、やけどに適應症があるといわれています。鬼怒川沿いに温泉旅館が立ち並び、散策にもいい温泉街です。古くは、東照宮の寺社領であり、大名など限られた利用であったようです。高度成長期に各旅館が大型化し、多くの観光客が訪れる温泉街となりました。日光にも近く、東照宮や江戸村など、観光地のみならず、紅葉の頃には萌える山々を見に、多くの方が訪れます。スペースの新宿乗り入れやスカイツリー開業など、新たな旅行客が訪れるようになってきています。新緑の鬼怒川、日光に訪れてみてはいかがでしょうか。

<http://www.kinugawa-kawaji.com/>